

## 平成31年度事業計画書

平成31年2月25日

公益財団法人 名勝依水園・寧楽美術館

平成31年度（平成31年4月1日～平成32年3月31日）事業計画の概要

依水園の庭園事業では、文化庁他の補助金による14年間の整備事業が、平成28年度で完了し、平成29年度からはこの修復整備された庭園を自らの費用で維持しながら公開を行っている。増加を続けていた海外からの入園客は、平成29年度以降、過半に達し、旅行サイトの観光施設の評価では、外国人を含め高い評価を獲得している。平成31年度も引き続いて公開を続け、評価を維持していく。またこの状態を永く維持するため、平成27年度より開始した庭園整備特別準備金の積立を、今年度以降も継続していく。

美術館事業では、前期展として4月1日(月)から9月9日(月)まで、「四季おりおり展—季節を愉しむ絵画と道具—」を開催する。絵画や茶道具・懐石のうつわなど、季節の風情を表現した作品をとりあわせ、一年ひとめぐりをおたのしみいただく。後期展は10月より2月まで「寧楽の工芸」(仮)として、奥田木白・森川杜園・加納鉄哉・吉田三兄弟(立斎・久斎・包春)・細谷而楽といった奈良工芸の名匠の作品を紹介する予定である。

毎年実施している、田能村竹田筆、重要文化財『亦復一楽帖』の一図ごとの特別陳列に関しては、4月1日より14日まで、第十二図「牡丹」を、11月には第十三図「梅花水仙」を陳列する。

今年度から、常時、所蔵品のうち名品のいくつかを入替ながら展示する企画を始める。これは、当美術館が、中国、韓国、日本の美術品を収蔵しているにもかかわらず、その時の企画展のテーマにそった収蔵品以外を展示できていない現状を改善するためである。

平成31年2月、3月に、依水園母屋において、当財団への寄贈品のひな人形等を展示する「依水園のひなまつり」を、初めて開催した。「曲水の宴」の平飾りのひな人形、稚児人形等、好評を博しているため、今年度も引き続きこの展示を開催する。

平成20年5月より毎年開催している、「依水園文化講演会」を、今年度も2回程度開催の予定である。

平成27年度より開始した、6月1日の開園記念日を割引料金とする企画を今年度も継続する。またこの日の恒例となった当財団敷地内茶室の三秀亭で、煎茶道を入園客に体験してもらうイベントを今年度も開催する。これは三秀亭が本来煎茶道の茶室であったことに基づくものである。

平成25年より例年2月に奈良市主催で開催されている珠光茶会開催期間中、園内の茶室を公開する「依水園お茶室見学会」を開催している。通常公開していない建物内部を見学できる機会として好評を得ているので、これを今年度も開催する。

平成29年度より毎年三月に奈良新聞社が主催する、「奈良工芸の粋」展の会場として当

園の美術館、母屋、茶室等を貸出し、奈良漆器、赤膚焼、一刀彫等の奈良の工芸品の展示、販売、茶席開設に協力している。今年度も奈良工芸の発展を支援するため、これに協力する。

庭師の人材育成の為に開講している「庭園大研究会」を今年度も継続して開催する。

収益事業の不動産事業として、旧貸家事業を営んでいた家屋が平成 29 年度末で空き家となっている。今年度は、この空き家の土地の活用策の検討を奈良県の観光部門とともに開始したい。

今後も公益財団法人として公開収入の増額を目指すとともに、魅力ある観光スポットとして前向きに企画をたてて大勢の入園・入館者に喜んでいただけるように努めたい。

以上